Victor "HIS MASTER'S VOICE"

取扱説明書

マイクロコンポーネントシステム

型名 **UX-GN6**

MP3/WMA

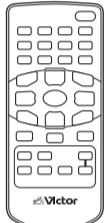
お買い上げいただきありがとうございます

⚠ご使用の前に
この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に別紙の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

ユーザー登録のおすすめ

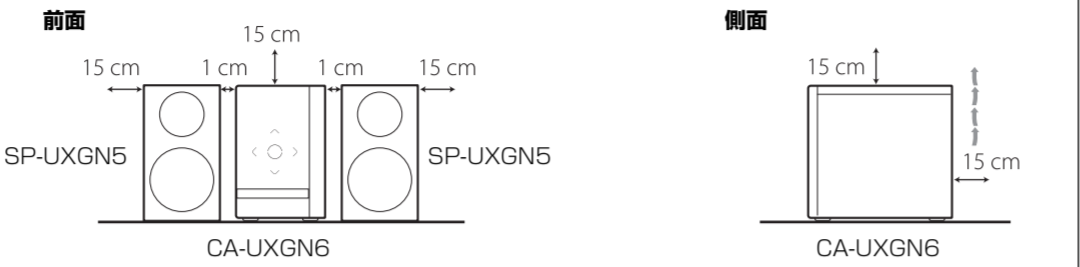
お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。ご登録いただきますと製品のサポート情報、ビクターの製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。また、今後のよりよい製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。
●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。
http://www.victor.co.jp/reg/

■ 付属品の確認

お使いになる前にお確かめください。

- リモコン RM-SUXGN6(1個)
- リチウム電池 CR2025(1個)（出荷時にリモコンの中に入っています）
- FM簡易型アンテナ（1本）
- ビデオコード(1本)

LVT1989-019B
0909RYMMDWDAT

はじめに

本機を設置するときは
本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロス、新聞、カーテンなどで通風孔をふさがない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない

■ リモコンの準備

初めてリモコンを使用するときには、リモコンの絶縁シートを引き抜いてください。

電池の入れかた:

ご注意:
- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 電池は、「安全上のご注意(別紙)」をお読みのうえ、正しくお取り扱いください。
- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい電池と交換してください。
- 落としたりぶつけたりなど、リモコンに強い衝撃を与えないでください。

■ モーションセンサー

電源が切れている(待機)ときに本体前面のモーションセンサーに手を近づけると、操作ボタンが点灯します。
- つづけて操作しないと、約5秒後に消灯します。
- エコモード(「ECO ON」)のときは、手を近づけても点灯しません。リモコンで操作してください。

接続する

ご注意:
- 両方のスピーカーが正しく、しっかりと接続されていることを確認してください。
- スピーカーコードを接続する場合は、+と－を間違えないようにしてください。
- １つのスピーカー端子に複数のスピーカーを接続しないでください。
- スピーカーコードの導線部分を本体の金属部分に接触させないでください。
- アンテナの導線部分が他の端子やケーブルに触れないようにご注意ください。また、アンテナをケーブルから離してください。受信の妨げになることがあります。

ご注意:
<u>すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。</u>

電源コードを接続する
すべての接続が終わったら電源コードを接続します。

テレビを接続する
iPodの映像や写真を見るための接続です。

FM簡易型アンテナ(付属品)を接続する
最も受信状態の良い位置と方向に伸ばしてください。

■ マンションなどの壁の共聴アンテナ端子またはFM屋外アンテナを使うとき

アンテナコード VX-22A（別売り）など
共聴アンテナ端子
FM屋外アンテナ（市販品）
アンテナコネクター VZ-71A（別売り：300Ω/75Ω対応）
同軸ケーブル 3C-2V（市販品）

電波状況が良くないときは、フィーダーアンテナ CN-511A(別売り：300Ω対応)をご利用いただくと改善される場合があります。
この場合もアンテナコネクター VZ-71A(別売り)が必要です。
- 付属品以外のアンテナを接続する際の詳細については、アンテナおよびアンテナコネクターの取扱説明書を参照してください。
- アンテナの設置場所を決めるときは、実際の放送を聞きながら行なってください。(→5ページ)

お知らせ:
- ケーブルテレビ会社と契約しているマンションの共聴アンテナ端子に本機のFM端子を接続している場合は、FM放送局の周波数が通常と異なることがあります。詳細は、ご契約のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

スピーカーを接続する

基本操作

デモ表示について(初めてお使いになるとき):
電源プラグをコンセントに差し込むと、表示窓に本機の特長や機能などを表示するデモ表示が自動的に始まります。電源が切れているときに本体の[DEMO]を2秒以上押すと、「DEMO CLR」と表示されデモ表示を解除できます。
- 本機がエコモードのときは、デモ表示はされません。(デモ表示の解除もできません)

ヘッドホンを使うときのご注意:
ヘッドホンをつける前や、ヘッドホンのプラグを抜き差しする前には、必ず音量を最小にしてください。
- ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。
- 音質調整はヘッドホンからの音声にも有効です。

レーザータッチ操作
本体正面の[|◀◀/▶▶|]と[VOL+/－]は、表示をなぞるように指をスライドさせて操作できます。

お知らせ:
本書の4ページから6ページでは、主にリモコンのボタンを使って操作説明をしています。
本体にも同じマークのボタンがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。

操作	操作ボタン		表示/説明
	本体	リモコン	
電源を入れる/切る(待機)	⏻/I	⏻/I	本体のSTANDBYランプが消灯・点灯します。
ソース(音源)を選ぶ	CD ▷/▮▮	CD ►/II	「CD/USB機器を再生する」(→ 4ページ)
	USB ▷/▮▮	USB►/II	
	iPod ▷/■	iPod►/II	「iPodの音楽を聞く/iPodの映像を見る」(→ 5ページ)
	TUNER/AUDIO IN	TUNER/AUDIO IN	くり返し押すと、次のように切り換わります。 FM ←→ AUDIO IN • 「FM放送を聞く」(→ 5ページ) • 「他のオーディオ機器の音楽を聞く」(→ 5ページ)
音量を調節する	VOL+ / VOL−	音量 ＋ / －	—
一時的に消音する	—	消音	もう一度押すと元の音量に戻ります。
サウンドモード	—	サウンドモード	押すごとにサウンドモードが切り換わります。
音を際立たせる(サウンドターボ)	—	サウンドターボ	S.TURBO表示が点灯します。 解除するには、もう一度押します。
重低音を強める	—	ハイパーバス	HBS表示が点灯します。解除するには、もう一度押します。 • サウンドターボを有効にすると、ハイパーバスは無効になりHBS表示も点灯しません。
表示窓の明るさを変える	ECO/DIMMER DEMO	エコ/ディマー	電源が入っているときに押します。
電源が切れているときの表示窓の表示を消す	ECO/DIMMER DEMO	エコ/ディマー	電源が切れているときに、くり返し押します。 DISP OFF：表示を消します。モーションセンサーは働きます。 ECO ON：エコモードを設定します。表示を消し、モーションセンサーを切ることで、電源待機時消費電力を押さえます。 • エコモードは、電源を切るごとに設定してください。

ご注意:
極端に音量を上げた状態で電源を切らないでください。次に電源を入れたときに、突然大きな音が出て、スピーカーやヘッドホンが破損したり、聴覚障害の原因となることがあります。

CD/USB機器を再生する

本機で再生できるディスク/ファイル
- 音楽CD
- 音楽CD(CD-DA)フォーマットのCD-R/RW
- CD-R/RWまたはUSB機器のMP3/WMAファイル(ISO9660フォーマット)
- MP3またはWMAファイルを再生したときは、ファイル形式表示(MP3またはWMA)が点灯します。

■ CDを入れる（本体からのみ操作できます）

1 ⏏ CDトレイが開きます。

2 • 8 cmCDは内側の凹部に置きます。

3 ⏏ CDトレイが閉まります。

■ USB機器を接続する

USBマスストレージ規格対応のUSB機器(USBフラッシュメモリーやMP3プレーヤー)が接続できます。

ご注意:
- エコモード設定時以外はUSB機器を充電できます。
- 本機の電源が入っているときにUSB機器をはずさないでください。本機やUSB機器の故障の原因となります。

USB機器の形によっては、USB REC/PLAY端子にしっかり差し込めません。このようなときは、別売りのUSB延長コードをお使いください。

■ CDの取り出しをロックするーチャイルドロック
（本体からのみ操作できます）

CDを取り出せないように設定できます。小さなお子様のいたずら防止に便利です。

■ + ⏏　電源が切れているときに2秒以上押してください。
- 設定を解除するには、同じ操作をしてください。

■ CD/USB機器の基本操作

操作	操作ボタン	表示/説明
CDを再生する	CD ►/II	• 再生中にもう一度押すと一時停止します。
USB機器を再生する	USB►/II	
停止する	■	• 停止中は総曲数と総再生時間(MP3/WMAファイルのときは、グループ番号とトラック番号)が表示されます。
曲を選ぶ	►►I	次の曲を選びます。
	I◄◄	現在再生している曲または前の曲の先頭に戻ります。
グループを選ぶ	UP	次のグループを選びます。
	DOWN	前のグループを選びます。
早送り/早戻し	►►	再生中に押しつづけると早送りします。ボタンをはなすと早送りが止まります。
	◄◄	再生中に押しつづけると早戻しします。ボタンをはなすと早戻しが止まります。
表示情報を変える	表示	(MP3/WMA のみ)くり返し押してください。

ご注意:
- CDが入っていない、またはCDにMP3/WMAファイルが録音されていないときは、表示窓に「NO DISC」と表示されます。
- USB機器が接続されていないときは、表示窓に「NO USB」と表示されます。USB機器にMP3/WMAファイルが録音されていないときは、表示窓に「NO FILE」と表示されます。

<u>リピート再生する</u>

聞きたい曲をくり返し再生します。

1 リピート　くり返し押して、リピートの種類を選びます。

→ RPT TRK → RPT GRP → RPT ALL → RPT OFF →

RPT TRK: 現在の(または指定した)曲をくり返す(⟲1)
RPT GRP: 現在のグループをくり返す(MP3/WMAのみ)(⟲)
RPT ALL: すべての曲をくり返す(⟲ALL)
RPT OFF: リピート再生を解除する

2 CD ►/II または USB►/II

<u>登録した曲を再生する(プログラム再生)</u>（ディスクのみ）

聞きたい曲を32曲まで登録して再生します。

1 CD ►/II ➡ ■　ソース(音源)をディスクにして、再生を停止します。

2 プログラム　プログラムモードになります。

3 ►►I または I◄◄　曲番号を選びます。
- MP3/WMAファイルのときは[UP]または[DOWN]を押しても選べます。

4 決定　選んだ曲が登録されます。

5 手順**3**と**4**をくり返し、他の曲を登録します。
- 32曲目を登録すると、「PRG FULL」と表示され、プログラム再生が始まります。

6 CD ►/II　プログラム再生が始まります。

- プログラム内容を確認するには、プログラム再生の停止中に[|◀◀]または[▶▶|]を押してください。
- プログラム内容を消去するには、プログラム再生の停止中に[メニュー/キャンセル]を押してください。
- プログラム再生を解除するには、プログラム再生の停止中に[■]を押してください。プログラム内容は記憶されます。

<u>ランダム再生する</u>（ディスクのみ）

ランダム(無作為)な順序で再生します。

1 CD ►/II　ソース(音源)をCDにする

2 ランダム

RND ALL: すべての曲をランダム(無作為)な順序で再生
RND GRP: 現在のグループの曲をランダム(無作為)な順序で再生 (MP3/WMAのみ)
RND OFF: ランダム再生を解除する

3 CD ►/II　ランダム(無作為)な順序で曲が再生されます。

- 曲をスキップするには、[▶▶|]または[|◀◀]を押してください。

iPodの音楽を聞く/iPodの映像を見る

■ iPodを接続する

iPodを直接コネクターピンに接続します。

iPod用ドックからドックアダプターを取りはずす

指の爪や先の細いものをスロット部にかけてドックアダプターを引き上げてください。

- 爪を傷つけたり、ドックの端子を破損しないように気をつけてください。

- 本機の電源を入れたまま、iPodを抜き差ししないでください。
- iPodの再生を始めるときは、必ず本機の音量を最小にしてください。音量は再生してから調節してください。
- 本機からiPodへのデータの転送はできません。
- iPodを接続したまま本機を移動させないでください。iPodが落下して、破損するおそれがあります。
- コネクターピンに直接触ったり、物を当てたりしないでください。破損の原因となります。
- 接続したテレビでiPodの動画や写真を見る前に、iPodの映像出力やテレビの映像入力を正しく設定してください。詳しくは、iPodやテレビの取扱説明書をご覧ください。

■ iPodの基本操作

操作	操作ボタン	表示/説明
iPodを再生する	iPod▶/II	本機がiPodを認識して、再生が始まります。
曲を選ぶ	▶▶I	再生中に次の曲を選びます。
	I◀◀	再生中の曲または前の曲の先頭に戻ります。
早送り/早戻し	▶▶I	再生中に押しつづけると早送りします。
	I◀◀	再生中に押しつづけると早戻しします。
メニューを表示する/前のメニューに戻る	メニュー/キャンセル	—
項目やメニューを選ぶ	UP または DOWN → 決定	• [UP]/[DOWN]ボタンはiPodのホイール(時計回り/反時計回り)と同じ役割です。(詳しくはiPodの取扱説明書をご覧ください。)
ランダム再生する	ランダム	• 詳しくはiPodの取扱説明書をご覧ください。
くり返し再生する	リピート	• 詳しくはiPodの取扱説明書をご覧ください。
表示情報を変える	表示	くり返し押します。

FM放送を聞く

本機はAM放送は受信できません。

■ ラジオの基本操作

操作	操作ボタン	表示/説明
FMを選ぶ	TUNER/AUDIO IN	くり返し押してFMを選びます。
放送局(周波数)を選ぶ	▶▶I または I◀◀	2秒以上押しつづけると、本機が自動的に選局を始め、放送を受信すると止まります。 • FMステレオ放送を受信すると、Ⓢ(stereo)表示が点灯します。(受信状態が良い場合) • 選局を止めたいときは、もう一度押します。 • くり返し押すと、0.1MHzずつ変わります。
放送局を呼び出す	UP または DOWN	プリセット番号を選びます。 • プリセットについては「放送局を記憶させる(プリセット)」をご覧ください。
FMモードを切り替える(FMステレオ放送が聞きにくいとき)	FMモード	音声がモノラルになり、聞きやすくなります。 Ⓜ(mono)表示が点灯し、ステレオ効果がなくなります。 ステレオ受信に戻すには、もう一度押してください。

■ 放送局を記憶させる(プリセット)

最大30局までのFM放送を記憶させることができます。

1 記憶させたい放送局を受信します。

2 決定　プリセット番号が点滅します。

- 表示が点滅している間に、以下の手順を行なってください。

3 UP または DOWN　記憶させたい番号を選びます。

4 決定　放送局が記憶されます。

- プリセット番号を選んで[メニュー/キャンセル]を押すと、記憶された放送局を消去することができます。

他のオーディオ機器の音楽を聞く

前面

1 音量 − 　音量を下げます。

2 TUNER/AUDIO IN　くり返し押して「AUDIO IN」を選びます。

3 接続した機器を再生します。

4 音量 +/− 　音量を調節します。

音声入力レベルを設定する

AUDIO IN端子に接続した他のオーディオ機器からの音声が小さすぎる場合、音声入力レベルを適切に設定することで、他のソース(音源)と音量を合わせることができます。

AUDIO INレベル　くり返し押して入力レベルを切り換えます。

NORMAL ←→ HIGH

NORMAL:　通常の入力レベルです。
HIGH:　入力レベルを上げます。

録音する

ディスクからUSB機器へ録音することができます。

■ 録音する前に

あなたがラジオ放送やラジオ放送やCD、テープなどから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。
私的録音補償金についてのお問い合わせ先
社団法人　私的録音補償金管理協会
03−5353−0336(代)

- 録音中、本機の音量·音質を変えても録音される音声には影響ありません。
- USB機器には、最大999ファイルまで録音できます。それ以上録音しようとすると「FILEFULL」と表示されます。
- ファイル形式はMP3(ビットレート: 128kbps)で録音されます。
- 「READING」の表示中は録音できません。表示が消えてから録音を始めてください。
- 録音中にUSB機器を取りはずさないでください。本体及びUSB機器の故障の原因になります。
- 録音時、ディスクのランダム再生やリピート再生はできません(自動的にキャンセルされます)。
- 録音時に本機を揺らさないでください。録音が正常に行われない可能性があります。

SCMS (Serial Copy Management System)

CDのクリアな音を他のデジタル機器(MD、USB機器など)にデジタル録音した場合、一度録音した機器から他の機器に再びデジタル信号のままコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」を作ることはできません。この決まりをSCMS(シリアル·コピー·マネージメントシステム)といいます。シリアル·コピー·マネージメント·システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは1世代だけと規定したものです。本機は、この決まりに準拠して設計されています。
この規定により、一度デジタル録音されたCDからUSB機器へデジタル録音することはできません。(「CAN NOT COPY」と表示されます)。

■ 録音の手順 (本体からのみ操作できます)

CD▶USB REC　ディスクの再生と同時に録音が始まります。再生が終わると録音も終わります。

録音する曲を選び、好きな順番で録音したいときは、ディスクをプログラム再生してください(「登録した曲を再生する(プログラム再生)」(→ 4ページ))。

- 録音を途中でやめるには、[■]を押してください。

1曲だけ録音する

1 録音したい曲を再生する

2 CD▶USB REC　曲が始めにもどり、再生と録音が始まります。

録音されている曲やグループを消す

USB機器に記録されている曲やグループを消すことができます。

- 消した曲やグループは元に戻すことはできません。よく確認してください。
- 操作を途中でやめるには、[■]を押します。

1 USB機器の再生を止めて、消したい曲またはグループを選びます。(→ 4ページ)

2 削除

3 ▶▶I または I◀◀　消しかたを選びます。
TTL DEL: 選んだ曲を消します。
GRP DEL: 選んだグループを消します。
DEL ALL: すべての曲を消します。

4 決定

5 ▶▶I または I◀◀
DEL NO: 消す手順を中断します。
DEL YES: 消す手順をつづけます。

6 決定　FINISH

時計·タイマーを使う

■ 時計を合わせる

時計を合わせないと、デイリータイマーを設定できません。

- 設定を中断するときは、[メニュー/キャンセル]を押します。

1 時計 → 決定　設定画面が表示されます。

2 ▶▶I または I◀◀ → 決定　「時」を合わせてから、次に「分」を合わせてください。

■ おやすみタイマーを使う

スリープ　押すごとに時間(単位:分)が次のように切り換わります。

SLEEP表示が点灯します。

- おやすみタイマーが設定されているときに[スリープ]を押すと、残り時間を確認できます。

■ 自動的に電源を切る(オートスタンバイ) (CD/USB/iPod選択時のみ)

オートスタンバイ　A.STBY表示が点灯します。

- 再生が終わると A.STBY表示が点滅します。3分間停止状態がつづくと、電源が切れます。

オートスタンバイを解除するには、もう一度押してください。

■ デイリータイマーを使う

デイリータイマーを使うと、お好みの音楽で目覚めることができます。

- 最大3件まで登録できます。
- 設定を中断するときは、[メニュー/キャンセル]を押します。

1 タイマー　くり返し押して、設定したいデイリータイマーの番号(「TIMER-1」、「TIMER-2」または「TIMER-3」)を選びます。

2 決定

3 ▶▶I または I◀◀ → 決定
① タイマーの開始時刻(「時」と「分」)を設定します。
② タイマーの終了時刻(「時」と「分」)を設定します。
③ ソース(音源)を選びます。(「DISC」、「USB HOST」、「TUNER FM」、「AUDIO IN」、または「IPOD」)
　• 「TUNER FM」を選んだとき:プリセットチャンネルを選ぶ*
　• 「DISC」または「USB HOST」を選んだとき:曲を選ぶ(MP3/WMAのときは、グループを選び、曲を選ぶ)
④ 音量を選びます。

4 ⏻/I　電源を切ります。
- タイマーの開始時刻になると、設定したソース(音源)が再生されます。

* 放送局がプリセットされていないときは、設定できません。「NOMEMORY」と表示され、タイマー設定は中断されます。

デイリータイマーを解除する

① タイマー　くり返し押して「TIMER-1」、「TIMER-2」または「TIMER-3」を選びます。
② メニュー/キャンセル　選んだデイリータイマーの設定を解除します。

- デイリータイマーの設定を解除すると、設定内容は消去されます。もう一度デイリータイマーを設定するには、上の手順**1**〜**4**を行ないます。

ご参考に

基本操作(→3ページ)

- ソース(音源)の準備ができている場合は、本体のソース(音源)ボタンを押すと、電源が入り、再生が始まります。
- サウンドモードとサウンドターボを同時に使うことはできません。

CD/USB機器を再生する(→4ページ)

- 本機では「パケットライト方式」でフォーマットされたディスクは再生できません。
- MP3/WMAの再生について
  - 本書ではMP3/WMAの説明をする場合、「ファイル」と「曲」は同じ意味で使っています。
  - 本機ではタグ情報(Version1)を表示できます(ただし日本語表示はできません)。
  - MP3/WMAファイルの入ったCDは、通常の音楽CDより読み取りに時間がかかります(グループやファイルの構成により、読み取り時間は異なります)。
  - 録音状態や記録方法によっては再生できないMP3/WMAファイルもあります。その場合、再生できないファイルはスキップされます。
  - MP3/WMAディスクを作成する場合は、ディスクフォーマットをISO9660 Level 1またはLevel 2にしてください。
  - 本機では拡張子が<.mp3>または<.wma>のMP3/WMAファイルが再生できます。(大文字と小文字混在した拡張子でも可)
  - MP3/WMAファイルはサンプリング周波数44.1kHzとビットレート128kbpsで作成することをおすすめします。本機では64kbps以下のビットレートで作成されたファイルは再生できません。
  - MP3/WMAファイルの再生順は、録音時に意図した順序と異なることがあります。
    MP3/WMAファイルを含まないフォルダは無視されます。
- 次のようなUSB機器は使用しないでください
  - 定格が電圧5V、消費電力500mAを超えている
  - セキュリティー機能のような特殊な機能が搭載されている
  - 2つ以上のパーティションがある
- USB機器の再生について
  - 接続するときは、USB機器の取扱説明書もご覧ください。
  - 一度に複数のUSB機器を接続しないようにしてください。また、USBハブは使用しないでください。
  - 本機はUSB2.0フルスピードに対応しています。
  - USB機器に入っているMP3/WMAファイルを再生できます(最大転送速度は2Mbps)。
  - 2ギガバイト以上のファイルは再生できません。
  - USB機器のなかには、本機で再生できないものがあります。
    また、本機はDRM(Digital Rights Management)には対応していません。そのため、パソコンでインターネットからダウンロード購入したファイル(著作権保護されたファイル)などは再生できません。
- 本機はディスク1枚あたり255グループまで認識できます。また、ディスク1枚あたりで本機が認識できるグループと曲を合わせた総数は512です(MP3/WMAファイルの場合)。
- 本機はUSB機器1台あたり99グループと999曲まで認識できます(1つのグループ内では最大255曲まで認識できます)。
- 電源が切れているときの表示を消す設定(「DISP OFF」または「ECO ON」)にしていると、CDトレイのチャイルドロックの操作はできません。

iPodの音楽を聞く/iPodの映像を見る

(→ 5ページ)

- iPod対応表:

iPodの種類	音楽	ビデオ
iPod nano	○	–
iPod nano(第2世代)	○	–
iPod nano(第3世代)	○	○
iPod nano(第4世代)	○	○
iPod mini	○	–
iPod mini(第2世代)	○	–
iPod(第4世代)	○	–
iPod classic	○	○
iPod photo(第4世代)	○	○*
iPod video(第5世代)	○	○
iPod touch	○	○
iPod touch(第2世代)	○	○

* 静止画のみ

- iPodのイコライザーを使用していると、録音レベルが高い音を再生したときに音がひずむことがありますので、使用しないことをおすすめします。iPodの操作については、iPodの取扱説明書をご覧ください。

時計·タイマーを使う(→ 6ページ)

- エコモードが設定されているときは、時計を合わせたり、タイマーを設定することはできません。
- 本機の時計は月に1、2分程度のズレを生じます。その場合は、もう一度合わせ直してください。
- 電源プラグをコンセントから抜いたり、停電などで電源が切れたときは、時計やタイマーの設定が取り消されます。もう一度時刻を合わせ、タイマーを設定してください。

タイマーの優先順位:

- デイリータイマーで再生が始まったあとに、おやすみタイマーを設定すると、デイリータイマーの設定は無効になります。

本機の故障または不測の事態により、ディスクやUSB機器の再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

Microsoft, Windows Mediaは、Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。

iPodは米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。
“Made for iPod”とは、iPod専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定された電子アクセサリーであることを示します。
- アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

表示窓

ハイパーバス表示(→ 3ページ)
S.TURBO(サウンドターボ)表示(→ 3ページ)
サウンドモード表示(→ 3ページ)
FM表示(→ 5ページ)
再生モード表示(→ 4ページ)
FMモード表示(→ 5ページ)
ソース(音源)表示
録音表示
タイマーモード表示(→ 6ページ)
ファイル形式表示(→ 4ページ)
メインディスプレイ
A.STBY(オートスタンバイ)表示(→ 6ページ)
SLEEP表示(→ 6ページ)

お手入れについて

快適にお使いいただくために、常にディスクや本機を清潔に保ってください。

ディスクの取り扱い

- ディスクをケースから出すときは、中央の穴を軽く押しながら、ディスクの端を持ってください。
- ディスクの光沢面を触ったり、折り曲げたりしないでください。
- 使用後はケースに戻してください。
- ケースに入れるときに、ディスクの表面を傷つけないように気をつけてください。
- 直射日光や高温多湿をさけてください。

ディスクの掃除

- 柔らかい布で、内側から外側へまっすぐふきとってください。

本体の掃除

- パネルの操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとからからぶきをしてください。
- キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、シンナーやベンジンなどの溶剤は使わないでください。また、殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

故障かな?と思ったら

修理を依頼する前に、もう一度お確かめください。

ビクターホームページ(http://www.victor.co.jp/)から最新の製品Q&A情報をご覧いただけます。
サービス窓口にご相談になる前に、下記の項目をチェックしてみてください。

共通

電源が入らない。
➡ 電源プラグをしっかり差し込んでください。

設定の途中で操作が取り消されてしまう。
➡ 操作には時間制限があるものがあります。もう一度操作し直してください。

リモコンで本機を操作できない。
➡ リモコンと本機の受光部との間を遮らないようにしてください。
➡ 新しい電池に交換してください。

音声が聞こえない。
➡ スピーカーコードを正しく接続してください。
➡ ヘッドホンのプラグを抜いてください。

CD/USBの操作

CDやUSBの再生が始まらない。
➡ ディスクの文字のある面を上にして入れてください。
➡ 「パケットライト方式(UFDフォーマット)」で録音されたディスクは再生できません。再生したいファイルを確認してください。
➡ USB機器を正しく接続してください。

MP3/WMAのグループやトラックが意図したように再生できない。
➡ 再生順はグループやトラックを録音した書き込みソフトで決まります。

CDやUSB機器からの音声が途切れる。
➡ 汚れや傷のあるディスクは、清掃するか交換してください。
➡ 正しく書き込まれた MP3/WMAファイルを再生してください。

USB機器からの音声が遮られる。
➡ 本機の電源を切り、USB機器を接続し直してください。

ディスクトレイの開閉ができない。
➡ 電源プラグをしっかり差し込んでください。
➡ チャイルドロックを解除してください。(→4ページ)

iPodの操作

表示窓に「CONNECT」と表示されているのにiPodが再生できない。
➡ iPodを充電してください。

iPodの映像や写真が見られない。
➡ iPodの映像設定を正しく設定してください。詳しくは、iPodの取扱説明書をご覧ください。

FMラジオの操作

雑音が多く放送が聞きづらい。
➡ アンテナを正しく接続してください。
➡ FMアンテナを調整し直すか、本機の設置場所を変えてください。
➡ 本機の電源を切り、入れ直してください。

録音の操作

USB機器に録音できない。
➡ 次のメッセージが表示されたときは、録音できません。

NO USB	USB機器が接続されていません。
D.FULL	USB機器の容量がいっぱいになっています。不要なファイルを削除してください。
FILEFULL	すでに最大ファイル数(999)または最大フォルダ数(99)録音されています。不要なファイルを削除してください。
W.PROT	USB機器が書き込み禁止になっています。書き込み禁止を解除してください。
CAN NOT COPY	一度デジタル録音されたCDからUSB機器へデジタル録音することはできません。
D.FAIL	USB機器が本機に対応していません。対応しているUSB機器を接続してください。

タイマーの操作

タイマーが作動しない。
➡ タイマーは、電源が入っていないときのみ作動します。

上記の処置をしても正しく動作しないときは…

本機はマイコンの働きで、多くの動作を行っています。万一、どのボタンを押しても正しく動作しないときは、一度電源プラグをコンセントから抜き、しばらく待ってから接続し直してください。

- 本機の故障または不具合等により、再生およびCDの演奏などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

主な仕様

■ 本体(CA-UXGN6)

アンプ部

実用最大出力	60 W + 60 W (JEITA THD10% /8 Ω)*
入力端子 AUDIO IN:	500 mV/50 kΩ(NORMAL) 250 mV/50 kΩ(HIGH)
デジタル入力	USB REC/PLAY端子
スピーカー/インピーダンス	8 Ω〜16 Ω

FMチューナー部

受信周波数	76.0 MHz 〜 90.0 MHz

CDプレーヤー部

ダイナミックレンジ	80 dB
S/N比	85 dB
ワウフラッター	測定限界以下

USB部

仕様	USB2.0フルスピード規格対応
対応機器	USBマスストレージクラス機器
ファイルシステム	FAT16、FAT32
USB出力電源	DC 5 V ⎓ 500 mA

iPod部

iPod 出力電源	DC 5 V ⎓ 500 mA
ビデオ出力	コンポジット

共通

電源電圧	AC 100 V(50 Hz/60 Hz共用)
消費電力	36 W(電源入時) 5 W(電源待機時) 1 W以下(電源待機時、エコモード入)
寸法	幅 165 mm x 高さ 250 mm x 奥行き 272 mm
質量	約3.5 kg

■ スピーカー(SP-UXGN5)

スピーカーユニット	4 cmコーンスピーカー x 1 12 cmコーンスピーカー x 1
インピーダンス	8 Ω
寸法	幅 140 mm x 高さ 250 mm x 奥行き 183 mm
質量(1本あたり)	約1.8 kg

- 本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
- * は、JEITA(電子情報技術産業協会)の測定法に基づく数値です。